

将来像	食と花の都の七つの姿	将来像実現のテーマ	基本的な施策の方針	展開施策	展開施策(細)	展開施策(細細)	施策番号	新農業構想施策番号	
食と花の都々日本一豊かたにぎわいのある大農業都市	<p>■多彩な食とは花の都として躍動する都市</p> <p>■元気な農業の担い手が地域とともに活躍する都市</p>	1-1 産業として魅力ある農業の確立	安心・安全な食料の供給と収益性の高い農業の確立	(1) 産地間競争に打ち勝つ「売れる米づくり」の推進	市場ニーズに応える高品質な米作りの推進	a 高品質米生産体系の確立	1	1. 販売力のある主食用米づくり	
					推進	b 用途別高品質米の生産促進	2	2. 水田フル活用の推進	
					「にいがた市産米」の消費拡大の促進	c	3	7. 地産・地消の推進	
					安心・安全な米作りの推進	a	4	9. 国内の販路拡大・輸出の促進	
					低コストな米作りの推進	a	5	18. 環境保全型農業の推進	
						a	5	3. 低コストな米づくり	
					(2) 生産性の高い農業の推進	園芸産地の拡大(野菜・果樹・花)	a 園芸作物の生産促進	6	4. 品質の確保された農畜産物の生産
							b 多様な新産地の育成	7	5. 安定した生産量の確保
							c 園芸複合経営への発展促進	8	6. 新たな品目・品種への取り組み
							d 野菜の青果市場への安定供給対策の推進	9	6. 新たな品目・品種への取り組み
						土地利用型複合営農の推進	a 大豆等の土地利用型複合営農の推進	10	7. 地産・地消の推進
							b 水田の汎用化の推進	11	2.水田フル活用の推進
				畜産物の安定生産の推進		a 畜産振興の推進	12	15. 優良農地の整備促進	
						b 畜産物の安定生産の推進	12	4. 品質の確保された農畜産物の生産	
						b 高能力家畜の導入助成	13	記載せず。	
						c 食肉の安全性向上	14	施策ではなく、事業であることから削除。	
						a 地域特性に応じた圃場整備などの推進	15	4. 品質の確保された農畜産物の生産	
						b 土地改良施設の機能維持・更新	16	15. 優良農地の整備促進	
				高生産性を目指す農業基盤等の整備	a 担い手への農地利用集積の促進	17	16. 施設老朽化に対する効率的な保全対策		
					b 土地改良施設の機能維持・更新	16	17. 低平地を支える農業農村整備の推進		
					a 担い手への農地利用集積の促進	17	11. 農業経営の確立		
					b 先進的技術の導入と経営管理の合理化等の促進	18	11. 農業経営の確立		
				担い手の育成・強化	c 個別経営体等の法人化の促進	19	13. 女性農業者への支援		
					d 集落営農組織の育成	20	11. 農業経営の確立		
					a 担い手への農地利用集積の促進	17	12. 農家の連携の強化		
					b 先進的技術の導入と経営管理の合理化等の促進	18	8. ブランド化の推進		
				農畜産物のブランド化と販路の拡大	a 農畜産物のブランド化	21	7. 地産・地消の推進		
					b 販売経路の多様化促進	22	9. 国内の販路拡大・輸出の促進		
					c 食と花の総合アドバイザーによるPR	23	記載せず。		
				(3) 買う人がうれしい「食と花」の提供	農産物の輸出	a 農産物輸出の促進	24	施策ではなく、事業であることから削除。	
						b 「食と花の世界フォーラム」の開催	25	9. 国内の販路拡大・輸出の促進	
					消費者ニーズに即した品目の導入と生産拡大	a 消費者のニーズを把握する仕組みの構築	26	9. 国内の販路拡大・輸出の促進	
						a 商品開発組織の育成と商品化の促進	27	7. 地産地の消推進	
					総合フード基地の確立	b 米を利用した新商品の開発促進	28	8. ブランド化の推進	
						a 産学官連携による研究・開発の推進	29	11. 農業経営の確立	
					新技術の研究・開発	a 産学官連携による研究・開発の推進	29	8. ブランド化の推進	
						b バイオリサーチパーク構想の推進	30	11. 農業経営の確立	
					農業を基盤とした新たな取り組みへの挑戦	a 特区等の活用	31	8. ブランド化の推進	
						a トレーサビリティシステムの整備	32	11. 農業経営の確立	
					(4) 信頼感を高める安心・安全な食料の供給	信頼感を高める安心・安全な食料の供給	b 農産物安全対策の推進	33	整備完了。バイオリサーチパークについては、バイオリサーチセンターを開設済み。これを活用する取組は産学官連携の取組として施策8に記載。
							c 環境保全型農業の推進	34	現在国家戦略特区としての取組を行っている。これまでの構造改革特区等では合致するものがなく、取組はなかった。記載から削除するが、他の特区の取組等があった場合には活用を検討する。
				d 耕畜連携の推進			35	1. 販売力のある主食用米づくり	
a 担い手に育つまでの多面的な支援体制の整備促進	36	4. 品質の確保された農畜産物の生産							
(1) 多様な担い手の育成・確保	女性の経営参画や起業の促進	a 農産加工支援など新たな起業化に向けた機会の提供	37	1. 販売力のある主食用米づくり					
		a 農家及び援農希望者市民の情報の収集・提供	38	4. 品質の確保された農畜産物の生産					
	農業ヘルパーシステムの導入	b 農業・農村をサポートする仕組みづくり	39	8. ブランド化の推進					
		a 農業機械の共同利用や作業受託の促進	40	13. 女性農業者への支援					
		b 仲介サービス体制の整備	41	12. 農家の連携の強化					
		a 農業水路等の維持に関する共同作業の促進	42	24. 農村・都市交流の推進					
(2) 営農組織の活性化	兼業農家の経営合理化の促進	a 農業機械の共同利用や作業受託の促進	40	5. 安定した生産量の確保					
		b 仲介サービス体制の整備	41	24. 農村・都市交流の推進					
集落における営農環境の整備	兼業農家の経営合理化の促進	a 農業水路等の維持に関する共同作業の促進	42	12. 農家の連携の強化					
		a 農業水路等の維持に関する共同作業の促進	42	12. 農家の連携の強化					

将来像	食と花の都の七つの姿	将来像実現のテーマ	基本的な施策の方針	展開施策	展開施策(細)	展開施策(細細)	施策番号	新農業構想施策番号	
食と花の都、日本一豊かだにぎわいのある大農業都市	<ul style="list-style-type: none"> ■地域に根差した資源を次世代に承継し、磨き上げる都市 ■水辺や緑、農地や里山など豊かな自然が息づく都市 ■魅力ある田園環境を満喫する都市 	1-2 地域として魅力のある集落環境の形成	美しく自然あふれる農村の形成	(1) 田園に囲まれた新潟らしさを育む地域資源の保全・創出	市街地をやさしく包む田園の保全	a	魅力ある田園集落づくりの推進	43	22. 魅力ある田園集落づくりの推進
						b	広大な農業地域を管理する農地情報システムの整備	44	15. 優良農地の整備促進
					地域資源の発掘・保全	a	農家・非農家の連携による地域共同活動の支援	45	22. 魅力ある田園集落づくりの推進
						b	地域資源の発掘・保全をサポートする仕組みづくり	46	5. 安定した生産量の確保 24. 農村・都市交流の推進
					住民の合意による田園風景。集落景観の形成	a	住民提案型の美しい集落景観の整備	47	22. 魅力ある田園集落づくりの推進
						a	環境用水の導入や水路護岸の整備等による水辺環境の改善	48	19. 環境に配慮した整備の推進
					水鳥が飛び交う水と緑のネットワークの形成	a	河川、潟湖、里山をつなぐピオープのネットワークの形成	49	22. 魅力ある田園集落づくりの推進
						b	環境用水の導入や水路護岸の整備等による水辺環境の改善	50	19. 環境に配慮した整備の推進
				(2) 農村地域の居住環境の向上	就業機会の拡大、創出	a	農業者の多角経営の促進	51	11. 農業経営の確立
						a	集落の生活環境の整備促進	52	22. 魅力ある田園集落づくりの推進
						b	優良田園住宅供給等の仕組みづくり	53	22. 魅力ある田園集落づくりの推進
					暮らしを守る排水対策の促進	a	水害の防止対策の推進	54	21. 防災機能の向上
						b	農業集落排水事業等の推進	55	整備完了
						c	流域水質保全機能の増進	56	22. 魅力ある田園集落づくりの推進
	(2) 集落自治活動の充実	伝統文化の継承	a		伝統文化の継承	57	22. 魅力ある田園集落づくりの推進		
			a		農家・非農家の連携による自治活動の支援	58	22. 魅力ある田園集落づくりの推進		
	自治活動の充実	農村集落の価値評価と課題発掘のための地元学の推進	a		農村集落の価値評価と課題発掘のための地元学の推進	59	22. 魅力ある田園集落づくりの推進		
			a		学校教育田の設置拡大	60	25. 教育ファームの推進		
			b		学校給食での地場農産物利用の拡大	61	7. 地産・地消の推進		
	(1) 農業者と消費者のつながりの創出・拡大	食育の推進	c		消費者等への食育の展開	62	23. 食育・花育の推進		
			にいがたの農産物の発信		a	「食と花の世界フォーラム」の開催	63	9. 国内の販路拡大・輸出の促進	
				b	(仮称)食と花のにいがた交流センターの整備	64	整備完了。今後はこれを活用した取組として施策8、24に記載。		
		にいがたの農産物の発信	c	(仮称)アグリパークの整備	65	整備完了。今後はこれを活用した取組として施策8、11、24記載			
			d	(仮称)国際農業研究センターの整備	66	整備完了。今後はこれを活用した取組として各施策に記載			
		にいがたの食文化の発信	地場農産物のPR	e	地場農産物のPR	67	8. ブランド化の推進		
				a	「にいがた」の食文化の発信	68	8. ブランド化の推進		
				a	直売所の整備による流通の活発化	69	7. 地産・地消の推進		
地産地消・地産域消・地産外商(消)の推進		地産地消・地産域消・地産外商(消)の推進	b	市内の広域的な地産地消流通システムの構築	70	記載せず。食と花の銘産品において、時限であるが、優位販売のための販促資材に対する助成を実施してきている。この取り組みが、施策「市内の広域的な地産地消流通システムの構築」とまでは、言い難い。施策としては、不要。			
			c	地場農産物の供給システムの強化	71	7. 地産地消の推進			
			d	流域産品の販売とブランド化	72	記載せず。市域を越えた地産地消やブランド化、販売ネットワークの構築には至っていない。域産域消は、多様な食の提供、新たなブランド化につながるものと考え、地産地消を一層進めることが重要。施策としては、不要。			
			e	食と花の総合アドバイザーによるPR	73	記載せず。施策ではなく、事業であることから削除。			
(2) 都市・農村交流の推進と多面的効果の発揮		都市・農村交流の推進(四季を通じたすこやか農村体験プログラムの提供)	f	地場農産物のPR	74	8. ブランド化の推進			
	a		田園都市型グリーンツーリズムの提供	75	24. 農村・都市交流の推進				
	b		農業サポーターシステムの導入推進	76	24. 農村・都市交流の推進				
都市・農村交流の推進(四季を通じたすこやか農村体験プログラムの提供)	都市・農村交流の推進(四季を通じたすこやか農村体験プログラムの提供)	c	農業・農村をサポートする仕組みづくり	77	5. 安定した生産量の確保 24. 農村・都市交流の推進				

将来像	食と花の都の七つの姿	将来像実現のテーマ	基本的な施策の方針	展開施策	展開施策(細)	展開施策(細細)	施策番号	新農業構想施策番号	
食と花の都々日本一豊かにぎわいのある大農業都	■農業者と消費者が互いに恵みあう都市 ■環境にやさしい農業に取り組む都市	1-3 田園型政令市の豊さにぎわいの形成	互恵による都市・農村交流の促進	(2)	都市・農村交流の推進と多面的効果の発揮	水と緑と人のネットワークの形成(交流の場の整備)	a	78	整備完了。今後はこれらを活用する取組として施策24に記載。
							b	79	22. 魅力ある田園集落づくりの推進
						農地の持つ防災機能の発揮	a	80	記載せず。防災対策事業の対象外となっており、ほとんど実施できていない。防災対策としては、農地の持つ多面的機能を活用した田んぼダム等の取組を施策21として記載。
							b	81	21. 防災機能の向上
							a	82	18. 環境保全型農業の推進
							b	83	18. 環境保全型農業の推進
	■農業者と消費者が互いに恵みあう都市 ■環境にやさしい農業に取り組む都市	1-3 田園型政令市の豊さにぎわいの形成	資源循環・環境重視型の地域づくりの推進	(1)	流域全体も含めた環境保全の推進	環境保全型農業の推進	c	84	記載せず。環境保全型農業の取組が定着化してきている中で、取組組織化することの必要性が希薄。
						流域の水資源の保全と有効活用	a	85	記載せず。施策としての必要性が希薄である。
							b	86	整備完了
							c	87	22. 魅力ある田園集落づくりの推進
						バイオマス等の利活用の推進	a	88	20. 資源循環型社会の形成
							a	89	記載せず。この間の取組の中で検討した結果、施設の整備は不要との結果に至った。
						耕畜連携の推進	b	90	12. 農家の連携強化 20. 資源循環型社会の形成
							c	91	2. 水田フル活用の推進推進
食品リサイクルの推進	a	92	記載せず。食品廃棄物の飼料化については、農業構想にはなじまないため記載削除。稲藁、もみ殻、家畜排せつ物の利用については施策20に記載。						